生保内中学校報

# 駒が嶺

Ｎｏ.１０
令和７年
６月６日（金）

□校　　訓　　正しく　かしこく　たくましく
□学校教育目標　　一人一人が「正しく　かしこく　たくましく」生き抜く学校の創造
～がんばろう　生保内～

## 学校運営協議会が行われました。CSスタートです。

３日に第１回学校運営協議会を開催しました。これは、令和７年度に生保内地区がコミュニティ・スクールへ移行することから、協議会を年３回開くことになりました。まずは、授業を参観しました。「中学生の授業を見るのは久しぶりだ」「中学校時代、英語・数学が難しかった」など委員の方々からは、思い出話とともに、一人一人が大事にされているとお褒めのお言葉もいただきました。参観後には、コミュニティ・スクール導入による委員の方々の役割について、市教委の相澤 CS ディレクターからレクチャーを受けました。次に校長より令和７年度の「生保内中学校学校経営方針」を説明し、委員の皆様に学校経営方針の承認をいただきました。また、「中学生がどんなふうに見えているのか」「期待すること」「それぞれの立場でできること」について、ご意見をいただきました。委員からは、「地域に活力を与える存在であってほしい」「生保内はいいよなと思ってほしい」など、中学生に期待することや「もっと中学生を知りたい」「中学校へ来て、活動を見たい」という意見もいただきました。

第２回目に向けて、「郡市総体激励会」「学校祭」に委員をご招待すること、「小中あいさつ運動」も一緒に行うことなど、委員の方々が中学生の活動を見る機会を増やしたいと考えています。これからもよろしくお願いいたします。

コミュニティ・スクールとは、学校運営協議会を導入した学校のことを指します。これは、地域住民や保護者が学校運営に積極的に関与できる仕組みであり、学校と地域が一体となって子どもたちを育むことを目的としています。この制度により、学校は地域の声を積極的に取り入れ、特色ある教育を推進することが可能になります。文部科学省も「地域とともにある学校づくり」を推進しており、全国で導入が進んでいます。

## ２回目の小中合同あいさつ運動を行いました。

２日に２回目の小中合同あいさつ運動を行いました。今回は、小学生が「あいさつ運動」ののぼりを持って参加してくれました。小学校の竹村校長からは、「中学生の元気なあいさつによって、小学生も元気な声を出せるようになってきた。」と効果が出ていることも教えていただきました。

**栄　光**　第１０回大曲中学校招待バレーボール大会（5/31）　第５位　バレーボール部